



テルモ株式会社  
会社案内

テルモは1921年、第一次世界大戦の影響によって  
輸入が途絶えた良質な体温計を国内で生産するために、  
北里柴三郎博士をはじめとした医師らが発起人となって設立されました。

当時の設立趣意書には、こんな言葉がつづられています。  
「“国民の保健は衛生思想の普及”にかかっており、  
“国民の健康が国家安定の基礎”であるという見地からすれば、  
これは国家的な工業ということが出来ます。」

設立者たちの想いは、今日に至るまで連綿と受け継がれ、  
「医療を通じて社会に貢献する」というテルモの企業理念に繋がっています。

人々の健康と、それを支える医療現場のために力を尽くし、  
社会の安定と発展に寄与する — 私たちはこの揺るぎない想いを持って、  
時代に応じて挑戦してきました。

テルモは、これまで培った確かな品質と最新のテクノロジーの力、  
そして現場に寄り添ったソリューションの創出を通じて、  
これからも、「医療の進化」と「患者さんのQOL向上」に挑戦します。

\*テルモでは従業員を共に働く仲間という意味を込めて「アソシエイト」と呼んでいます。

## 企業理念

# 医療を通じて社会に貢献する

私たちは、医療の分野において価値ある商品とサービスを提供し、医療を支える人・受ける人双方の信頼に応え、社会に貢献します。

## コアバリューズ

### Respect (尊重) — 他者の尊重

私たちは、アソシエイト、お客様、そしてビジネスパートナーに対して敬意と感謝の気持ちをもって接します。多様な文化や個性を理解し、異なる意見や社会の声にも広く耳を傾け、自らの成長に繋げていきます。

### Integrity (誠実) — 企業理念を胸に

私たちは、人々のいのちや健康に関わる企業のアソシエイトとして、常に、誠実に使命感をもって行動します。日々努力し、全てのステークホルダーとの間に、確かな信頼を築いていきます。

### Care (ケア) — 患者さんへの想い

私たちは、自らの活動が、患者さんにつながっていることを常に忘れず行動します。医療に携わる人々を深く理解することに努め、患者さんのより良い未来の実現をともに支えています。

### Quality (品質) — 優れた仕事へのこだわり

私たちは、安全と安心の医療を提供するために、常に現場視点で課題を捉え解決策を見つけ出します。製品品質のみならず、供給やサービスなど、全ての活動におけるクオリティの向上を徹底的に追求します。

### Creativity (創造力) — イノベーションの追求

私たちは、未来に挑戦する風土を大切に、好奇心と情熱をもって取り組みます。医療現場のニーズを的確に捉え、価値ある製品やサービスを最適なタイミングで届けていきます。

# 医療のパラダイムシフトを捉え 価値あるソリューション創出に向け アクセルを踏み込む

テルモグループは、「医療を通じて社会に貢献する」という企業理念のもと、世界160以上の国や地域の医療現場や患者さんに向けて、高品質な製品やソリューションをお届けしています。

世界の医療は今、「パラダイムシフト」の時を迎えています。高齢化の世界的な進展は、慢性疾患と共生する時間の増加を招き、高度化する医療と経済性の両立が社会的な課題となっています。一方で、デジタル、バイオ医薬、ゲノム医療など数々の技術進歩が医療の世界にも急速かつ大きな変化を及ぼしつつあります。

このような中、テルモが医療を通じた社会貢献を実現し続けるためにも、長年にわたり築いてきた品質を礎に、デジタル化や治療技術のイノベーションといった変化の波を捉え、それらを自らの競争力に変えていくことで、医療の進化と患者さんのQOL向上に邁進していきます。

今年は、次の10年超を見据えた5カ年成長戦略「GS26」の2年目になります。多様な医療課題に応えるソリューション創出に挑戦する企業として、30,000人のアソシエイトとともにグループ一丸となってGS26の達成に向け更にアクセルを踏み込んでいきます。今後とも一層のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

代表取締役会長

高木 俊明

社長 CEO

鮫島 光







## 医療に、そして、命に寄り添う。

近年、医療のニーズが多様化するとともに、新たな治療領域における目覚ましい技術革新の中で、人々の健康との向き合い方も大きく変化しています。

一人ひとりの患者さんに最適な医療を提供し、その人らしい生活を応援したい。

これは、多くの医療従事者の皆様の願いであると同時に、私たちの願いでもあります。

テルモは、3つのカンパニーをグローバルに展開。

医療現場のあらゆる課題の解決に応え、患者さんの治療効果とQOLの向上に導くデバイスやソリューションをお届けしています。

私たちは、医療の今と未来に寄り添い、社会への貢献を実現し続けます。

# テルモは3つのカン 医療の現場に価値あるソ

心臓血管カンパニー



メディカルケアソリューションズカンパニー



血液・細胞テクノロジーカンパニー





# パニーで事業を展開し ソリューションを届けます

## 血管内治療と心臓外科手術において、患者さんの負担軽減を追求する

人間の生命活動を支える脳・心臓・肺、そして全身の血管の病気の治療に関わる事業を展開しています。心臓や脳の血管にカテーテルを通して治療を行う血管内治療関連デバイス、心臓外科手術中に心臓・肺の機能を代替することで生命維持を行う人工肺や人工心肺装置、病気で傷んだ血管の代わりとなる人工血管やステントグラフトを提供。各事業に共通して、より良い治療効果の実現、患者さんの身体への負担軽減およびQOL向上を目指しています。

- **Terumo Interventional Systems (TIS事業)**
- **MicroVention (ニューロバスキュラー事業)**
- **Terumo Cardiovascular (カーディオバスキュラー事業) / ハートシート事業**
- **Terumo Aortic (血管事業)**

## 患者さんのケアの質向上と医療の変革に貢献し、 医療に関わるすべての人に「やさしい医療」を提供する

近年、高齢化が進む中で、患者さんの増加に加え、疾病の多重化・慢性化により医療費が増大しています。また、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、感染対策への意識が高まりました。さらには、テクノロジーの進歩による、患者さん一人ひとりの個性に合わせた個別化医療へのニーズも高まっています。このような多様化・複雑化する医療現場の課題やニーズに対し、私たちは、これまで培ってきた強みを生かしたソリューションの提供をさらに充実させることで、患者さんのケアの質向上と医療の変革に貢献し、医療に関わるすべての人に「やさしい医療」を提供します。

- **Terumo Medical Care Solutions メディカルケアソリューションズカンパニー**  
(ホスピタルケアソリューション事業 / ライフケアソリューション事業 /  
ファーマシューティカルソリューション事業)

## 世界の輸血医療を支えるとともに 進化する血液・細胞治療に貢献する

献血で提供された血液は、血液センターで血小板、血漿、赤血球など血液製剤化され、医療機関に供給されます。テルモは、世界中の血液センターと提携し、製剤化に用いる機器や血液バッグを供給し、製剤プロセスの効率化に貢献しています。また、遠心分離技術を活用した血液成分を採取または除去するデバイスを通じ、多様な血液治療のソリューションを展開しています。近年は、進化が著しい細胞治療および遺伝子治療の分野の研究機関や製薬企業に向けて、高品質な細胞治療製品を大規模に製造するための装置やサービスを提供し、新たな治療法の創出を支援しています。

- **Terumo Blood and Cell Technologies 血液・細胞テクノロジーカンパニー**

# TIS事業

心臓血管カンパニー



## 血管内治療の可能性を広げ、患者さんの負担が少ない治療に寄与します

心臓や下肢の血管の病気に対し、カテーテルを用いて治療する「バスキュラーインターベンション(血管内カテーテル治療)」や、血管内の状態を診るための「イメージング(画像診断)」、肝臓がんの化学療法「インターベンショナルオンコロジー」に関する製品を展開。治療効果の向上と、デバイスを扱うドクターが求める操作性・品質を追求するとともに、患者さんの身体にやさしい治療(低侵襲治療)の発展に貢献しています。



### バスキュラーインターベンション(血管内カテーテル治療)

#### ■ アクセスデバイス

血管にカテーテルを通すための入り口や、病変部までの道筋をつくります。

- イントロデューサーシースキット
- ガイドワイヤー ● 動脈穿刺部止血デバイス

#### ■ 治療デバイス

ステント、コイルなどで血管内から病変部を治療します。

- 薬剤溶出型冠動脈ステント(DES)
- 末梢血管用ステント ● 血管内塞栓用コイル

#### ■ イメージング(画像診断)

血管内壁の表面や断面を、超音波または光で観察します。

- 血管内超音波診断システム(IVUS)
- 血管内光干渉断層画像診断システム(OFDI)

### インターベンショナルオンコロジー(がん治療)

#### ■ IVR関連デバイス

がん細胞に通じる肝動脈にカテーテルを通して化学療法を行います。

- マイクロバルーンカテーテル ● マイクロカテーテル
- 放射線放出性ビーズ ● 薬剤溶出性ビーズ



イントロデューサーシースキット



薬剤溶出型冠動脈ステント(DES)



血管内超音波診断システム(IVUS)



マイクロカテーテル

## TOPICS

### 患者さんのQOL向上、医療経済性へのさらなる貢献 — TRIの普及を通して

テルモは、手首の血管からカテーテルを挿入して行う血管内治療「TRI(Transradial Intervention)」の普及にいち早く取り組んできました。TRIは、太腿の付け根からの治療と比較して出血性合併症などの低減が期待でき、また入院期間短縮による医療費削減といった医療経済性の面でもメリットがあり、大きく普及が進んだ手技です。当初、心臓の血管の治療を中心に行われてきたTRIは、近年は末梢血管(ペリフェラル)や、肝臓がん化学塞栓療法(インターベンショナルオンコロジー)領域にも拡大しています。テルモはこれらの多様な治療において、手首からのアプローチが可能なデバイスのラインアップの拡充や開発に力を入れ、製品の適正使用トレーニングの提供、エビデンス構築の支援など更なる普及に取り組んでいます。今後もテルモは患者さんのQOL向上と医療経済性に貢献します。

# ニューロバスキュラー事業

心臓血管カンパニー



## 脳血管疾患に対する血管内治療に独自のテクノロジーで革新を起こします

脳の血管の詰まりや瘤(脳動脈瘤)の破裂などにより血液の流れが阻害され、脳細胞が障害を受ける病態、いわゆる「脳卒中」に対するカテーテル治療製品を、米国子会社マイクロベンション社との連携で展開しています。脳動脈瘤や脳梗塞に対する治療デバイス、脳動静脈奇形に対応する液体塞栓材など、症例に最適な素材や設計の技術を活かし、革新的なデバイスを創出することで、患者さんの負担が少ない脳血管治療の可能性を広げます。



### ■ 脳動脈瘤治療用デバイス

脳動脈にできた瘤の破裂を防ぐため、瘤の内部に詰め物をする、瘤の入り口を塞ぐなどにより血流を遮断します。

- 脳動脈瘤塞栓用コイル
- 袋状塞栓デバイス
- 血流変更ステント
- コイル塞栓術用アシストステント

### ■ 血栓除去デバイス・頸動脈ステント

脳血管内の血栓の除去や、血管の詰まりの拡張を行います。

- 脳血栓吸引カテーテル
- 血栓除去デバイス
- 頸動脈ステント

### ■ 血流遮断デバイス

脳動静脈奇形など出血リスクのある脳血管に、バルーンや液状の塞栓材を用いて、血流を遮ります。

- オクリュージョン・バルーンカテーテル
- 液体塞栓材

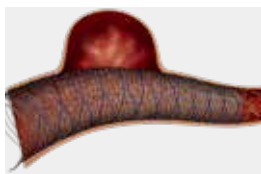
### ■ アクセスデバイス

脳血管内の病変部までの道筋をつくります。

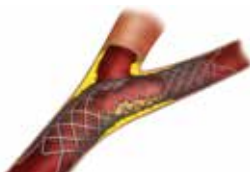
- マイクロカテーテル
- ガイドワイヤー



袋状塞栓デバイス



血流変更ステント



頸動脈ステント



脳血栓吸引カテーテル

イラストはイメージ図

## TOPICS

### 脳血管内治療の革新の歴史とともに、マイクロベンション社設立25周年

マイクロベンション社は、2022年9月に設立25周年を迎えました。1997年に南カリフォルニアの小さな施設で開発者数名が設立した同社は、現在では3,000人以上のアソシエイトとともに、米国、欧州、アジア、中南米を含めて70カ国以上で事業を展開しています。創業以来、マイクロベンション社は30以上の製品を発売し、2006年のテルモグループ参入後は、脳動脈瘤だけでなく、脳梗塞、頸動脈狭窄症、脳動静脈奇形などの治療領域にもポートフォリオを拡大してきました。今後も脳血管内治療への更なる貢献を目指してまいります。

## 世界初のテクノロジーで心臓病患者さんのQOL向上に貢献します

心臓外科手術中に停止させた心臓や肺に代わって、血液を体外で循環させる人工心肺装置、血液のガス交換を担う人工肺、緊急症例の患者さんの心肺機能を補助する体外式膜型人工肺(ECMO)、心臓を停止させずに行う外科手術の進行をサポートする医療機器などを開発・販売しています。また、重症心不全患者さんの新たな治療の選択肢として期待される、世界初の再生医療等製品を展開するハートシート事業とも連携し、イノベティブな技術で心臓病患者さんのQOL向上に貢献しています。



### カーディオバスキュラー事業 (Terumo Cardiovascular)

#### ■ 人工心肺システム

心臓外科手術の際、患者さんの心臓と肺に代わり、体外循環とガス交換を行います。

- ホローファイバー型人工肺
- 人工心肺装置
- 体外循環用血液パラメータモニタリングシステム

#### ■ 経皮的な心肺補助システム(PCPS) / 体外式膜型人工肺 (ECMO)

急性心筋梗塞や心停止など、緊急症例の患者さんの心肺機能を補助します。

- 体外循環装置用遠心ポンプ駆動装置
- 人工心肺用回路システム
- 大腿動静脈カニューレ

#### ■ オフポンプ冠動脈バイパス術システム

心臓を止めずに行う外科手術の進行をサポートします。

### ハートシート事業

#### ■ 再生医療等製品

重症心不全の患者さんの大腿部から筋肉組織を採取、組織内に含まれる骨格筋芽細胞を培養してシート状にし、心臓表面に移植して使用します。薬物や外科手術による回復が難しい症例への治療の選択肢を提供します。



ホローファイバー型人工肺



経皮的な心肺補助システム (PCPS) / 体外式膜型人工肺 (ECMO)



オフポンプ冠動脈バイパス術システム



骨格筋芽細胞シート

## TOPICS

### 人財豊かなコスタリカで生産能力の更なる強化

Terumo Cardiovascularは、2022年にコスタリカに新たな生産拠点テルモカーディオバスキュラーコスタリカLLC S.r.l.を開設しました。同拠点では、心臓外科手術の際に血液の体外循環を担う人工心肺用回路システムの全ての品種のチューブキットの生産を担っています。コスタリカは、持続的な経済成長が期待されるとともに、高度な教育を受け、熟練したスキルを備えた人財に富み、更なる事業の拡大と成長を目指すテルモにとっては理想的な環境です。現在は、新たに入社したアソシエイトを対象に、技術的な知識と、患者さんの命を守る仕事に対する情熱を伝える、独自の教育プログラムに力を入れています。コスタリカにおいて生産能力を強化することで、世界中の医療現場のお客様のニーズにいち早く応え、患者さんの治療により効果的なソリューションの実現を目指します。

# 血管事業

心臓血管カンパニー



## 卓越した技術のシナジーにより患者さんに最適な大動脈治療を実現します

血管事業を担うTerumo Aorticは、胸部および腹部の大動脈瘤や大動脈解離といった大動脈疾患に対する外科手術と血管内治療で用いる人工血管とステントグラフトを中心に、幅広い症例に対応する多様な製品ラインアップを展開。世界100以上の国で多くの患者さんの治療に貢献しています。また、今後は治療成績を向上させるためのソリューションやデジタル技術を活用し一人ひとりの患者さんに最適な製品を提供すべく、Terumo Aorticは大動脈治療におけるイノベーションを追求してまいります。



### ■ 人工血管

外科手術によって、病的な血管（大動脈瘤、大動脈解離）を置き換える治療に用いられます。

- 胸部用人工血管
- 腹部用人工血管

### ■ ステントグラフト

カテーテルによって、血管内（大動脈）の目的部位にバネ付きの人工血管を留置し、大動脈瘤が破裂しないようにしたり、大動脈解離が進行しないようにする治療に用いられます。

- 胸部用ステントグラフト
- 腹部用ステントグラフト

### ■ フローズンエレファントトランク

人工血管とステントグラフトを組み合わせた構造により、2段階の手術を一度で実施する治療に用いられます。

- 胸部用フローズンエレファントトランク（ハイブリッド型）



胸部用人工血管



胸部用フローズンエレファントトランク  
（ハイブリッド型）



胸部用ステントグラフト



腹部用ステントグラフト

## TOPICS

### FDA からブレイクスルーデバイス指定・認証取得 — 胸部用フローズンエレファントトランク

胸部用フローズンエレファントトランクは、米国で初めて承認された、弓部大動脈治療のために人工血管とステントグラフトを組み合わせたハイブリッド治療に使用されるデバイスです。

2020年に米国食品医薬品局（FDA）よりブレイクスルーデバイス指定を受け、2022年にFDA認証を取得しました。

人工血管とステントグラフトの2つの機能を一体化させることで、より低侵襲に治療することができ、手術時間の短縮や術後の早期回復が期待できます。

# ホスピタルケアソリューション事業

メディカルケアソリューションズカンパニー



## 多様な病院課題を解決するソリューションを提供し、医療の質や安全性の向上に貢献します

ホスピタルケアソリューション事業は、医療安全、院内感染対策、医療費の抑制といった医療現場の多くのニーズに対して、患者さんや医療従事者の負担軽減、使い勝手向上につながる製品開発、医療機器使用における運用サポート、医療従事者へのトレーニングプログラムなどさまざまな提案を行っています。単なる製品提供では解決し難い課題に対するソリューション提案を通じ、「治療の安全性向上」「業務の効率化」「患者さんのQOL向上」に貢献します。



### ■ 高機能薬剤投与システム関連製品

高機能輸液システムの普及とデジタルヘルスとの融合を進め、薬剤投与の効率化と標準化、安全性の向上を図ります。

- システム連携機能搭載輸液・シリンジポンプ / ポンプモニタリングシステム
- 未開通投与防止機構付輸液バッグ
- 閉鎖式抗がん剤投与システム (CSTD)
- 安全機構付静脈留置針 ● クローズド輸液システム

### ■ 周術期・がん領域製品

術後早期回復、疼痛管理や合併症対策など、  
周術期・がん領域における医療ニーズに応えます。

- スプレー式癒着防止材 ● 鎮痛薬 ● 輸液 / 栄養兼用ポンプ
- 口腔ケア用液体包帯 ● フルディスポーザブル硬性子宮鏡

### ■ 感染対策・環境整備関連製品

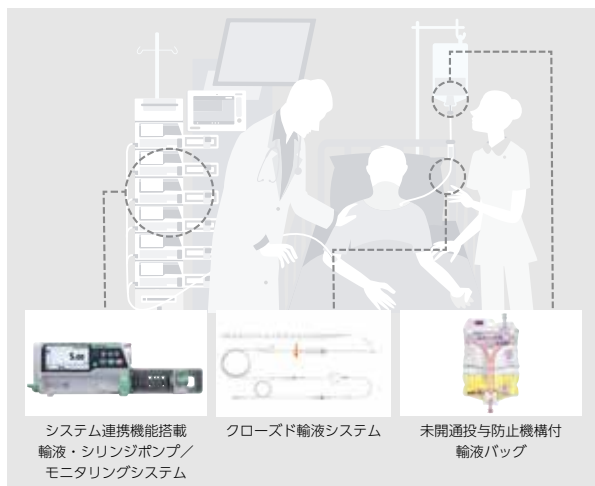
医療従事者の手指消毒などの感染対策や手術室や病室などの環境整備に貢献します。

- 手指消毒剤 ● 除菌剤含有クロス ● 紫外線照射ロボット

### ■ 腹膜透析関連製品

日常生活への負担が少ない透析療法とされる腹膜透析 (PD) において、患者さんが安心して治療を行うための製品を展開しています。

- 中性化腹膜透析液 ● 手動接続の腹膜透析液交換システム
- 無菌接合装置 ● 自動腹膜透析装置



## TOPICS

### コロナ禍の経験を活かし、院内の感染対策や環境整備に更なる貢献

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、感染対策は医療の現場、そして私たちの日常生活において、その重要性が再認識されました。中でも、医療機関では独自の感染対策ルールの徹底や製品の適切な運用方法など、多岐にわたる課題を抱えています。そこで、テルモはメディカルケアソリューションズカンパニーを中心として、院内での感染対策や環境整備における課題の抽出から運用、フォローに至る総合的な提案を実施。紫外線照射ロボットの運用プロトコルの提案やトレーニング、皮膚赤外線体温計による発熱スクリーニング等を通じて、医療現場の課題解決を目指しています。

感染対策専用サイト  
(医療関係の皆様向け情報)



紫外線照射  
ロボット



手指消毒剤



感染対策キャラクター  
クリンちゃん

# ライフケアソリューション事業

メディカルケアソリューションズカンパニー



健康を願うすべての人に寄り添い、それぞれの患者さんに合ったソリューションを提案します

ライフケアソリューション事業は、糖尿病をはじめとした慢性疾患を抱えながら生活している患者さんに、個別に最適化された医療を実現するソリューションを提供しています。健康を願うすべての人に寄り添った新たな価値創出を通じて、「患者さんの予後改善」「重症化予防」そして「QOLの向上」に貢献します。



## ■ 糖尿病治療関連製品

日常的な血糖管理やインスリン投与療法において使い勝手の向上や痛みの低減などを追求した製品を展開し、患者さんのQOL向上に貢献します。

- 血糖自己測定器 ● 持続血糖測定システム
- パッチ式インスリンポンプ ● ペン型注入器用ディスポーザブル注射針



パッチ式インスリンポンプ



持続血糖測定システム



通信機能付き測定機器シリーズ



電子体温計 / 皮膚赤外線体温計

## ■ バイタルサイン管理関連製品

通信機能を搭載し、患者さんのバイタルサインをタイムリーかつ効率的、正確に管理します。

- 血糖測定器 ● 電子体温計 ● 電子血圧計 ● パルスオキシメータ

## TOPICS

### 新たなテクノロジーで、糖尿病を持つ方の笑顔を支える

テルモは1982年から約40年にわたり糖尿病領域で革新的な製品を提供し続けており、2018年に日本で唯一のパッチ式インスリンポンプを開発、2019年に米デクスコム社の持続血糖測定器の日本での販売を開始しました。そして2020年、仏Diabeloop社とインスリン自動投与制御システム(AIDシステム)の共同開発契約を締結しました。持続血糖測定器でリアルタイムに測定した皮下のグルコース濃度に連動して、患者さんの状態に合わせたインスリン量がインスリンポンプから持続的に投与されるこのAIDシステムを通じて、糖尿病治療へのさらなる貢献を目指します。



インスリン自動投与制御システムのイメージ

# ファーマシューティカルソリューション事業

メディカルケアソリューションズカンパニー



## 独自の技術で医薬品の価値向上とドラッグデリバリーの発展に貢献します

プレフィルド(薬剤充填済み)製品で培った独自の技術を生かし、製薬企業に新たな薬剤投与デバイスを提案しています。薬剤に適した素材技術を組み合わせたデバイスの開発や、高度な製造技術を活かした医薬品と医療機器のコンビネーションプロダクトの設計・製造を行っています。治験薬の製造から商用製品の生産に至るまで、製薬企業とのアライアンスを通じて、トータルソリューションを実現するとともに、患者さんにとって必要な薬剤を、安全かつ確実にお届けしています。



### ■ 医薬品開発製造パートナーリング

製薬企業とのパートナーシップを通じて、薬剤充填デバイスの設計から商用製造まで一貫してサポートします。

- 自己投与薬剤充填済みシリンジ
- セーフティ機能付き薬剤充填済みシリンジ

### ■ 容器提供

バイオ医薬品やワクチンなどの薬剤に最適な素材をマッチングし、ユーザビリティの高いデバイスを提供します。

- 薬剤充填用シリンジ
- 皮内投与型デバイス

### ■ 薬剤キット用デバイス提供

製薬企業が販売する医薬品に同梱するための投与用デバイスを提供し、医療現場の安全性と効率性に貢献します。

- 薬剤キット用注射針



自己投与薬剤充填済みシリンジ  
セーフティ機能付き薬剤充填済みシリンジ



薬剤充填用シリンジ



薬剤キット用注射針



皮内投与型デバイス

## TOPICS

### 生産能力増強でグローバル展開に対応

テルモの医薬品と医療機器を組み合わせたドラッグ&デバイス製品は、国内子会社のテルモ山口東工場や、富士宮医薬品工場、甲府医薬品工場がその生産を担っています。薬剤充填用シリンジの素材技術や無菌充填技術を有するテルモ山口東工場は、欧州のEMAや米国のFDA、日本のPMDAなど各地の規制当局から薬剤充填済みシリンジの製造に関する認定を取得しています。欧州で販売中の自己免疫疾患に対するバイオシミラー(バイオ後続品)など医薬品と医療機器を組み合わせたコンビネーションプロダクトを生産しています。現在、2016年の稼働時と比べて3.5倍の生産能力を見込む増設が進められ、グローバル規模で事業の成長をけん引する重要な生産拠点として期待されています。



## 患者さんのいのちとより良い生活のために血液と細胞治療の可能性を追求します

血液や細胞は、私たちの生命維持に不可欠であると同時に、がんや難病とされる病気の治療をはじめ、さまざまな治療への可能性を秘めています。米国子会社テルモ BCT 社が担う血液・細胞テクノロジーカンパニーは、献血によりドナーから提供された血液を安全かつ効率的に血液製剤化するためのソリューションや、細胞治療やアフェレーシス治療に必要な、血液成分や細胞の採取・分離、細胞治療薬の製造プロセスに対するソリューションを提供し、血液センター、医療機関、製薬企業、研究機関など、幅広いお客様を支援しています。近年は、デジタルソリューションとサービスに注力し、新たな治療法の選択肢を患者さんに提供できるよう、独自の技術進歩に繋げています。



原料血漿採取システム



病原体低減システム



成分採血システム



血液自動製剤システム



白血球除去フィルター付き血液バッグ



全血採血システム

### ■ 血漿イノベーション

希少疾患などの治療で使われる血漿分画製剤を製造するために、原料血漿を採取する技術です。ドナーの安全性を確保しながら効率的で高品質な原料血漿供給を実現するため、研究開発とプロセス改善に取り組んでいます。

- 原料血漿採取システム

### ■ 血液センターソリューション

血液センターで行われる採血と製剤化プロセスにおいて、品質と効率の向上を実現。プロセスの自動化により、血液センターが可能な限り需要に合致する成分を採血し、患者さんのもとに必要な血液製剤を提供できるように支援します。

- 成分採血システム ● 血液自動製剤システム
- 白血球除去フィルター付き血液バッグ ● 病原体低減化システム
- 全血採血システム

※これらの製品の業事承認および販売状況は、国や地域により異なります。

# 血液・細胞テクノロジーカンパニー



遠心型血液成分分離装置



血液成分に関わる多様な疾病の治療に遠心分離技術を活用



細胞製剤用充填・仕上げシステム



細胞増殖システム

## ■ アフェレーシス治療・細胞採取

血液や細胞の病気に対し、その病原となる血液中の不要な成分を分離・除去、治療に必要な成分を採取することがあります。テルモは遠心分離技術を活用して、さまざまな疾患と闘う患者さんに、新たな治療の選択肢を提供することを目指しています。

- 遠心型血液成分分離装置

## ■ 細胞治療テクノロジー

従来の小規模かつ手作業による細胞製剤の開発から、新たに自動化工程を導入する際の支援をしています。それにより商業化のニーズを満たし、より多くの患者さんが先進的な治療を受けられるよう取り組んでいます。

- 細胞増殖システム
- 細胞製剤用充填・仕上げシステム
- 無菌接合装置

## TOPICS

### Equipment and Beyond — 機器からの発展

血液製剤や細胞治療製品といった医療リソースを患者さんとその治療に携わるお客様にいち早く、効率的に提供するために、血液・細胞テクノロジーカンパニーはテルモグループの中でもいち早くデジタルトランスフォーメーションを推進し、ソフトウェア開発やデータ解析に積極的な投資を行っています。

- **血漿イノベーション**：機器の稼働管理、装置やディスプレイキットの在庫管理、製品使用トレーニングの運営などをデジタルで実現するエコシステムを展開。  
また、センターの運営業務の効率化によって、ドナーの皆様へ接する時間の充実を支援します。
- **血液センターソリューション**：お客様の管理システムと連携し、血液採取から製剤化までを最適なタイミングとプロセスで実施することで、製品品質の向上とプロセスの最適化に貢献します。
- **アフエーシス治療・細胞採取**：各種治療のプロセスや患者さんごとのペイシェントジャーニーに沿った各種レポートや分析、改善提案機能を備えたソフトウェアを提供します。
- **細胞処理**：細胞治療製品の研究現場で求められる厳密な電子データ記録や報告書作成、プロトコル管理においてデータを集約して管理し、医薬品製造管理および品質管理基準 (GMP) の順守をサポートするソフトウェアの提供を実施しています。

血液・細胞テクノロジーカンパニーのスコープは、研究開発や臨床現場まで多岐にわたります。今では「機器」の枠を超えて (Equipment and Beyond) で差別化を実現しています。今後もデジタルプラットフォームやデータの活用を通じて、お客様にとって使いやすく、最適なソリューションをいち早くお届けするとともに、次世代の治療のイノベーションをサポートします。

## TOPICS

### 腎障害治療のための共同研究 — アフエーシス治療への貢献

2022年、米国子会社テルモ BCT 社と Eliaz Therapeutics Inc. (ETI) は、急性腎障害 (AKI) と敗血症誘発性 AKI (S-AKI) に関する共同研究を発表しました。これらの疾患は、腎機能が低下する病態であり、人工透析が必要となる場合があります。世界では 1,300 万人以上が罹患しており、年間 200 万人の命が失われています。しかしながら、その治療の選択肢は限られています。

テルモの遠心型血液成分分離装置は、血液を体外で循環させて治療に必要な成分を分離し、残りの血液を患者さんに戻す装置です。今回の共同研究では、ETI 社の新たなカラムとテルモの技術を併用することで、血漿からの AKI および S-AKI の原因となる炎症性タンパク質の除去を図ります。両社はこの共同研究を通じて、慢性腎臓病の発症率と死亡率の低下や、人工透析に至る患者さんの低減、入院期間の短縮化を目指しています。臨床試験の結果については、現時点で約 3 年後の発表を目指しています。

# At a Glance

テルモグループの現在 2022年度(2023年3月期)

## 業績(連結)

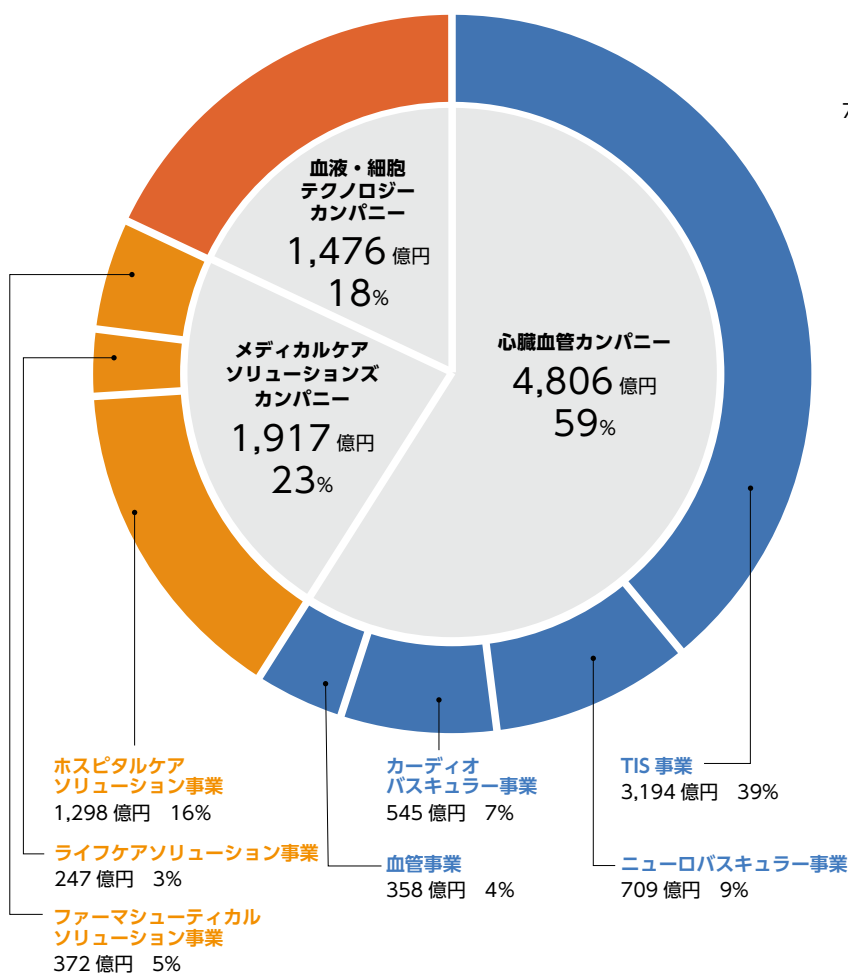
### 売上収益

8,202 億円

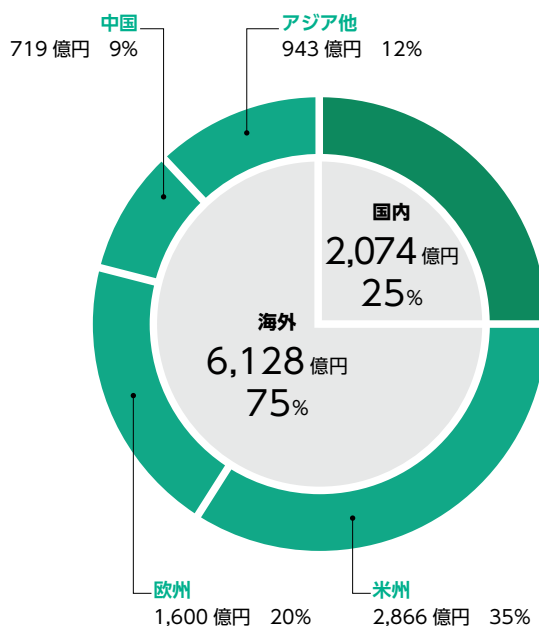
### 調整後営業利益

1,380 億円

### 事業別売上収益



### 地域別売上収益



構成比率は小数点以下を四捨五入しており、合計が100%とならない場合があります。

## 事業 / 組織の規模

### 販売国・地域数

160 以上

### 連結子会社数

99 社

### 製品品種数

50,000 点

### 生産拠点数

全体 34 拠点  
 日本 8 拠点  
 海外 26 拠点

### 研究開発拠点数

全体 23 拠点  
 日本 6 拠点  
 海外 17 拠点

### 特許件数

約 8,600 件

## 人財

### アソシエイト(社員)数

#### テルモグループ



30,207名

#### テルモ株式会社



5,457名

### 女性アソシエイト比率



テルモグループ

46.8%

テルモ株式会社

18.9%

### 女性管理職比率



テルモグループ

30.8%

テルモ株式会社

9.6%

### 男性育児休業取得率



テルモ株式会社

68.8%

## 主な選定・認定



テルモグループの2030年度の温室効果ガス排出量削減目標は、SBTイニシアチブより、「1.5℃水準」として認定を取得しています。



テルモは、FTSE Russell が作成する ESG 投資指数[FTSE4Good Index Series] [FTSE Blossom Japan Index] [FTSE Blossom Japan Sector Relative Index] の構成銘柄に選定されています。  
(2023年3月末時点)



テルモは、「S&P/JPX カーボン・エフィシエント指数」の構成銘柄に選定されています。  
(2023年3月末時点)



テルモは、薬剤溶出型冠動脈ステント(DES)の薬剤塗布技術に関する特許発明について、令和5年度全国発明表彰の「文部科学大臣賞」および「発明実施功績賞」を受賞しました。

## 会社概要

|             |   |
|-------------|---|
| 商号          | テルモ株式会社                                   |
| 東京オフィス      | 〒163-1450 東京都新宿区西新宿 3-20-2<br>東京オペラシティタワー |
| 幡ヶ谷オフィス(本社) | 〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷 2-44-1                |
| 設立          | 1921年9月17日                                |
| 資本金         | 387億円                                     |
| 会長および社長 CEO | 代表取締役会長 高木 俊明<br>社長 CEO 鮫島 光              |
| 事業内容        | 医療機器・医薬品の製造販売                             |
| 株式          | 東証プライム市場上場                                |



[www.terumo.co.jp](http://www.terumo.co.jp)



@terumo\_jp



/terumo-global/

# Our Associates

## アソシエイトの活躍

### 生産の現場から品質改善のアイデアを探る「多くの人を救う希望」を信じて

ベトナム／テルモベトナム Co., Ltd. 生産課 品質管理者（シニアスーパーバイザー）



常に現場目線を持って品質改善に取り組み、若手の育成にも力を入れる

私は 2007 年の工場立ち上げ当時にテルモに入社し、輸液セットなどの生産移管にも携わりました。16 年目を迎えた現在は、生産課の品質管理者として、工程の品質保証プロセスの管理や改善に取り組んでいます。また、若手の育成の面では、生産工程のアソシエイト向けの、動画やデジタルを活用した教育ツールの企画などにも注力しています。私はいつも現場に目を配り、品質改善のアイデアを提案することを心がけています。その根底にあるのはテルモのコアバリューズの「Care（ケア）— 患者さんへの想い」です。私たちが高品質な製品を製造することで、多くの人に希望をお届けできる、そう信じて仕事に取り組んでいます。

### 医療機器の研究開発の原点 —

### 患者さんへの想いを胸に、国境を越えて、製品開発に取り組む

日本／テルモ株式会社 イノベーションセンター 中国 R&D アソシエイト

私は、過去に下肢動脈治療用カテーテル製品の開発や、テルモ中国側のチームと連携しながら、中国市場における心血管疾患領域のニーズ探索活動に取り組んできました。地域によって変わる臨床現場のニーズを捉え、製品化することで、より良い医療サービスを実現できる仕事にやりがいを感じています。現在まだ多くの治療法は、残念ながら患者さんが痛みや苦しみに耐えることが前提となっていますが、医療機器の研究開発の原点は患者さんにあると私は考えています。これからも、国境を越えて患者さんの苦痛をなくせるような製品開発に貢献したいと思います。



より良い製品開発のために、日本と中国の架け橋として活躍する

## DXのクリエイティビティを追求し、ビジネスの効率性と患者さんにより良いアウトカムを

米国 / テルモ株式会社 DX 推進室 Business Platform シニアマネージャー



成長のカギを握る、事業領域を繋ぐデジタルプラットフォーム開発に挑む

私は米国を皮切りに、テルモグループ全体の事業領域で用いる、グローバル・デジタルプラットフォームの開発プロジェクトを推進しています。私のチームは、異なる事業領域を繋ぐと共に、医療機器業界で遵守すべき規制や品質保証などの要件を踏まえた共通のデジタルインフラ開発に注力しています。テルモには、品質への妥協を許さず、新たなテクノロジーを生み出し続けた歴史がありますが、次の100年に向けた成功のカギは、DXのクリエイティブなコンセプトを創出することです。膨大なデジタルデータを活かして、これまで不可能だった分析や予測を実現し、ビジネスの効率性向上と患者さんのアウトカム向上に貢献していきます。

## 臨床への深い知見と誠実さで築く信頼 一つのチームのように医療の安全に貢献

米国 / テルモカーディオバスキュラーシステムズ Corp.  
プリンシパル・クリニカルスペシャリスト

私はテルモに入社する前は臨床検査技師でした。その長年の経験を活かし、プリンシパル・クリニカルスペシャリストとして、医療従事者とテルモのアソシエイト双方に製品のトレーニングや適正使用のための情報提供などを行っています。臨床検査技師がおかれた環境を深く理解すると同時に、深い知見を最大限に生かし、医療現場の課題に応じていくことで、お客様からの信頼に繋がっていると思います。私の日々の行動は、テルモのコアバリューズの「Integrity（誠実）— 企業理念を胸に」とも結びついています。時にはお客様とも一つのチームのようになり、患者さんにより安全で費用対効果の高いソリューションを提供することを通じて、社会に貢献していきます。



お客様と一つのチームのようになり、医療現場の課題解決に取り組む

# Our Activities

テルモグループの活動 2022年度(2023年3月期)

## 多様な人財の活躍

### アソシエイトと企業の成長を共に実現

テルモはアソシエイト一人ひとりの成長を重視しています。目覚ましく変化する医療の世界において、テルモが新しい医療課題に向き合い、より革新的なソリューションを提供できる企業であるためには、その経営戦略の実現を担う人財が欠かせません。そのため次世代経営層やグローバルリーダー、若手アソシエイト向け育成プログラムをテルモグループ全体で実施しています。さらに、新しいことへの挑戦や、常に学び成長することを志向する“Growth Mindset”がテルモの組織文化として根付くよう、グループ全体で取り組んでいます。Growth Mindsetの醸成により、アソシエイト一人ひとりの意識と行動に変化を生み出すことで、企業に進化をもたらします。テルモはこれからも、アソシエイトが企業と共に成長し続ける組織づくりを目指してまいります。



Growth Mindsetに関するセッション



テルモ Growth Mindset のロゴ (テルモグループ社内でのみ使用)

### 一人ひとりが自分らしく活躍できる環境づくりを目指して

グローバルにビジネスを展開するテルモでは、インクルーシブな文化・風土を醸成し、企業活動に根付かせることを目指して、グループ共通の「DE&I フィロソフィー・ガイディングプリンシプル」を制定しています。さらに2023年3月にはDE&Iを加速させるため、4つの重点分野を選定し、各地域の特性に応じた展開をしています。その具体的な取り組みとして、経営層を対象としたワークショップをはじめ、「テルモ DE&I Week」を開催するなど、世界各拠点で独自のイベントを実施しています。世界中の多様なアソシエイトが活躍し、その可能性を最大限に発揮できるような環境をつくっていくことで、アソシエイトと企業の持続的成長を実現してまいります。



テルモ DE&I Week における社内イベントの様子 (ベトナム)



地域・事業をまたいだ ARG\* パネルセッション  
\*ARG (Associate Resource Group)



## 環境への取り組み

### 環境負荷の低減に努め、2040年カーボンニュートラルを目指す

テルモは、事業活動に伴う温室効果ガス排出量（スコープ1+2）の削減を重要な取り組みとして捉え、2040年度までにカーボンニュートラルの実現を目指します。その取り組みの一つとして、テルモベトナム工場では、2022年度にメガソーラーパネルを導入しました。これにより、ベトナム工場全体の消費電力の14%を再生可能エネルギーでまかない、年間約2,700 tのCO<sub>2</sub>削減効果が見込まれます。その他、廃棄物の削減や資源の有効活用、環境にやさしい製品開発や生物多様性保全など、多岐にわたる施策を通じてグループ全体で環境負荷の低減に努めていきます。



テルモベトナム工場（ハノイ市）



生物多様性保全を目指した「テルモ富士山森づくり」活動の様子

## 地域社会への取り組み

### 献血推進プログラム「From the Heart」

新型コロナウイルス感染症の影響で献血に協力する人が減少し世界的な課題になりました。テルモでは、血液・細胞テクノロジーカンパニーが中心となり、グローバルでの献血推進プログラムである「From the Heart」を実施しています。各地域での献血イベントの開催や啓発活動を通じて、安全かつ持続可能な血液供給への貢献を目指しています。2022年は、327回の献血イベントを通して、世界中で約2,500人以上のアソシエイトが約25,000人の献血協力を得るのに貢献しました。さらに、より多くの患者さんを救えるようアソシエイトだけでなく、その家族や友人にも協力の輪を広げています。



献血イベントの様子

## 医療課題の解決

### 医療従事者向けトレーニングを世界中に提供し続ける

医療機器は正しく使用されることで、初めてその効果を十分に発揮します。しかし、国や地域によっては医療トレーニングを受ける機会が少なく、十分な知識・技能や経験を持つ医師や技士が不足することが課題となっています。そこで、テルモは世界中に医療従事者向けトレーニングを提供できる体制の構築に取り組んでいます。日本では2002年に、手術室やカテーテル室など病院と同等の医療環境を有する「テルモメディカルプラネックス」を開設、国内外の医師や看護師、臨床工学技士などにトレーニングの機会を提供してきました。今後も世界中の医療ニーズに応じたプログラムを提供し続けます。



トレーニング普及を担うアソシエイト

# テルモ100年の歩み

テルモは創業以来100年にわたり常に前進を続け、患者さんと医療現場の近くで、新しい価値を生み出しています。

## 患者さんにやさしい



## 患者さんの 身体的負担の軽減

**1982年**  
世界初多孔質ホローファイバー型人工肺を発売

**1985年**  
血管造影用カテーテルシステムを発売し、  
血管内カテーテル診断・治療分野に進出



## 国民衛生の基盤づくりを支援



北里柴三郎博士と設立趣意書  
写真提供：学校法人北里研究所

1921

1960

1970

1980

1990

## 医療現場の感染対策



**1963年**  
日本初の単回使用の注射筒を発売

**1969年**  
日本初の血液バッグを発売

**1973年**  
血液バッグ開発で蓄積した技術をもとに、  
日本初のソフトバッグ入り輸液剤を発売



## 環境に配慮した製品づくり



**1983年**  
病院用予測式電子体温計を発売

**1985年**  
水銀体温計の生産を終了

## 医療現場に安全・



**1999年**  
プレフィルドシリンジ  
(薬剤充填済みシリンジ)を発売

## テルモグループの歩み

■ **1921年**  
北里柴三郎博士をはじめとする医師らが  
発起人となり、良質な体温計の国産化を目指して  
赤線検温器株式会社を設立

■ **1936年**  
仁丹体温計株式会社に商号を変更

■ **1971年**  
米国と欧州(ベルギー)に現地法人を設立

■ **1974年**  
テルモ株式会社に商号を変更

■ **1989年**  
研究開発施設「湘南センター」を開設

## 新たな治療の可能性を提供

### 治療の追求

**1988年**  
腹膜透析システムを発売

**1993年**  
血糖測定システムを発売

**2005年**  
世界で最も細いインスリン等投与用注射針を発売

**2006年**  
脳血管内塞栓用コイルを発売

**2008年**  
薬剤溶出型冠動脈ステントを欧州で発売

**2018年**  
日本初のパッチ式インスリンポンプを発売



**2012年**  
フローズンエレファントトランクを欧州で発売

**2016年**  
世界初の重症心不全治療用の再生医療等製品として、ヒト(自己)骨格筋由来細胞シートを発売



**2016年**  
世界初の袋状塞栓デバイスを脳動脈瘤治療ラインアップに追加



**2019年**  
細胞製剤用充填・仕上げシステムを発売し細胞治療分野を強化

**2020年**  
テルモBCT社が新たに「血液・細胞テクノロジーカンパニー」として、細胞治療分野を強化

**2020年～**  
ECMO、ワクチンシリンジなどコロナ禍における医療現場にグローバル規模で貢献



2000

2010

2021

次の100年へ

### 安心を提供

**2000年**  
フローズド輸液システムを発売

**2012年**  
未開通投与防止機構付輸液バッグを展開



### 治療技術の発展に貢献



**1990年代半ば～**  
TRI(手首の動脈を介したカテーテル治療)を支援

**2002年**  
「医療技術の創造と普及」を目的とする施設として、テルモメディカルプラネックスを建設

### 安全で効率的な医療のプラットフォームを提供



**2012年**  
院内ITと連携可能な輸液投与システムを発売

**2013年**  
通信機能付き測定機器シリーズを発売



■ **1999年**  
米国3M社から人工心肺事業を譲受し、テルモカーディオバスキュラーシステムズ社を設立

■ **2002年**  
人工血管の製造販売会社・英国バスケテック社がテルモグループに加入

■ **2006年**  
脳血管内治療デバイスの製造販売会社・米国マイクロベンション社がテルモグループに加入

■ **2011年**  
血液・細胞テクノロジー分野の世界的企業・米国カリディアンBCT社(現テルモBCT社)がテルモグループに加入

■ **2017年**  
ステントグラフトの製造販売会社・米国ボルトンメディカル社がテルモグループに加入

■ **2019年**  
企業理念体系を整備全アソシエイト共通の価値観「コアバリューズ」を新設

■ **2021年**  
創立100周年

■ **2022年**  
新カンパニーブランド「Terumo Medical Care Solutions」を発表



テルモ株式会社

東京オフィス

〒163-1450 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー

[www.terumo.co.jp](http://www.terumo.co.jp)



記載されている社名、各種名称は、テルモ株式会社および各社の商標または登録商標です。

© テルモ株式会社 2024年4月 24T003